

Library News



大山崎中学校図書館

令和6年10月

体育大会、文化祭の小説を読んでみよう。

10月には体育大会、文化祭、と続けて大きな学校行事があり、静かな図書室にいても、なんとなく校内全体がわくわくしているように感じられます。この時期、文化祭や体育大会をあつかった小説はいつもより身近に感じられるのではないのでしょうか。

ケガをして体育祭に参加できない花音は体育祭の準備期間中の図書委員の代理を頼まれます。カウンターに置かれていた10年前に貸出された本。誰が返却しに来たの？そしてその本に挟まれていた不穏なメモの意味は？花音は図書委員の朔太郎と一緒に謎を追いますが…体育祭の盛り上がりの陰で明らかになっていく10年前の悲劇とは…読み返したくなる胸熱、青春ミステリーです。



『部長会議はじまります』
吉野万理子



『表参道高校合唱部』桑畑絹子

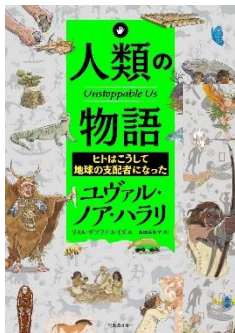


『図書室のはこぶね』名取佐和子

文化祭を一か月後にひかえたある日、展示に使うジオラマに異変が！小さな人物像が消えて、赤い絵の具がべっとりと…ジオラマ担当の美術部は激怒！犯人は誰だ？！緊急部長会議が開かれますが…

文化祭といえば、合唱。こちらは高校の合唱部が舞台の三部作。ドラマからノベライズされた人気シリーズです。廃部寸前の弱小合唱部。そこへ合唱への熱い思いを抱いた転校生がやってきます。彼女は合唱部を廃部から守るために部員集めに奮闘し始めますが…合唱コンクール参加者必読の書！

新着本から



『人類の物語 人はこうして人類の支配者になった』 ユヴァル・

『人類の物語 どうして世界は不公平なんだろう』 ノア・ハラリ

2016年に刊行された『サピエンス全史』は世界的大ベストセラーとなり、その後出版された『ホモ・デウス』も大ヒット！そんなハラリさんがついにジュニア向けの本を出してくれました。なぜヒトは他の動物を支配できるほどの力を持ったのか、なぜ富める者、支配する者が生まれたのか。人類600万年の歴史をわかりやすく解説！読むべき教養本です。また、『サピエンス全史』の漫画



版も発刊されました。マンガでしか読めないというかたはぜひこちらをどうぞ。（ただし、漫画版は漢字ふりがな無しです。）

『涙の音、聞こえたんですが』 嘉成晴香

美音には特殊能力がある。それは人が涙を流す時、その音が聞こえるという力だ。泣いている人の所へいち早く駆けつける。そして泣いている人の弱みをにぎり、それを利用する。そんな風にして生きてきた美音。ある日の昼休み、学校で涙の音を聞き、その主を探し出した美音は驚く。それはプリンスとも言われている生徒会長だった…



『夜空にひらく』 いとうみく

暴力事件を起こし補導された円人は少年院に行く代わりに、深見煙火店に住み込みで働き始めた。煙火店とは花火を作り、打ち上げる会社のことだ。社長の深見が身元引受人となり、素行に問題がなければ元の生活に戻ることになる。でも円人には戻りたい家もない。そして身元引受人である深見にも哀しい過去があった…



『六月のぶりぶりぎっちゃん』 万城目学

京都が舞台の短編と中編を収録。大学時代、京都のとある寮で暮らしていた私はそこで不思議な人と同室になる。「私ほどその篇首（書物の冒頭）を知られた者は存在しない」と言い切るその人物の正体は？表題作の中編は本能寺の変の謎。ぶりぶりぎっちゃんって何？って思った方はぜひお読みあれ。

司書のひとりごと 昨日の本棚から

『藍色時刻の君たちは』 前川ほまれ

昨今、ヤングケアラーをとりあげた小説をたくさん見かけます。どれも重い課題に果敢に取り組んだ意欲作ですが、なかでも本書はずば抜けて読み応えがありました。それは東日本大震災を間にはさんだ12年間の物語だからでしょう。高校生だった3人のヤングケアラーたちと彼らに寄りそう謎の女性。震災は彼らの運命を大きく変えてしまいます。後半は東京で再会する大人になった3人を描き、読者にほのかな希望を見せてくれます。ヤングだけでなく今どの年代にも介護の問題は大きくのしかかっています。「ちゃんと手を離しなさいね」青葉の言葉は正しいけれど難しい……

